

Bonjour à tous. みなさまこんにちは！

2月に入り、バレンタインのショコラが目を楽しませてくれますね。フランス語でバレンタインデーは「Saint-Valentin (サン・ヴァランタン)」と言いますが、みなさまいかがお過ごしですか？

今回のLETTRE DE L'INSTITUTでは、「よくある質問」や「フランス語の辞書アプリ」についてご案内します。



■ Infos pratiques – よくある質問！

Q1：学期の途中で引越しをするのですが…。

ご住所の変更がある場合は、事務局へメールまたはお電話にてお知らせください。なお住所ラベルは、ご自身で訂正したものをご利用ください。また念のため最寄の郵便局への転居届けもお願いいたします。

Q2：模範解答と自分の解答を見比べても、わからない点があるのですが、

テレフォンサポートや質問サポート(メール、Faxや手紙)で質問しましょう。担当教師が丁寧にお答えします。

Q3：返却答案がいつもの曜日に届きません。もう少し待った方が良いでしょうか？

郵便事情で、2、3日配達が遅れることがあります。返却予定日の翌週火曜日になっても届かない場合は、事務局までご連絡ください。

■ フランス語の辞書アプリいろいろ

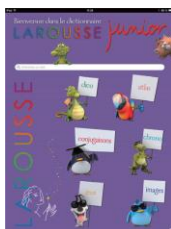
スマートフォンやタブレットなどアプリを使うことも増えてきました。フランス語の辞書にも便利なアプリが色々あります。外出先や電車中でも気になったときにすぐに単語を調べられるのでとっても便利です！

iPhoneやiPadを使っていられる方は是非お試しください！詳しくは、アップルストアをご覧ください。



「プチ・ロワイヤル仏和・和仏辞典/¥5,860」

定番ベストセラーのフランス語辞典アプリ。動詞活用表、表現、類語、重要単語やコラムなども収録されています。初心者～。



「Dictionnaire Junior Larousse/¥720」

フランスの小学生向け仏和辞書。簡潔な説明と豊富な画像で、まだ仏和辞典は難しいと思う方にもおすすめします。動詞活用や発音の確認、フランス語のクイズもあり楽しみながらフランス語に慣れていけるでしょう。



■ フランス語のオンラインニュースいろいろ



フランスのこども向け新聞。政治、科学、文化について最新のニュースが短くまとめられ読みやすいニュース記事です。さっと読むだけで、話題の語彙や時事フランス語の学習にもなり、口述試験の準備対策にも！オンラインだけでなく紙版の定期購読も可能です。

<https://www.1jour1actu.com/>



Voici venue la Saint-Valentin, la fête des amoureux ! Nous nous intéresserons donc cette quinzaine au mot *amour* bien sûr !

恋人たちのお祝い、バレンタインデーがやってきました！ということで、この2週間はもちろん、愛という言葉に関心があるでしょう！

L'amour est-il masculin ou féminin ?

Les dictionnaires indiquent qu'*amour* est un nom masculin. On dit : **un grand amour**. Mais ils précisent aussi que le mot est féminin **au pluriel** dans la langue **littéraire**, comme dans le titre de la jolie chanson de Serge Gainsbourg *Les amours perdues*. Étrange, non ?...

Historiquement, le mot *amour* est assez androgyne. Son étymon latin, *amor*, comme son aboutissement en italien moderne, *amore*, sont bien masculins. Cependant, *amour* a été féminin en français jusqu'au XVII^e siècle. Ce féminin ancien a survécu par exception dans la langue littéraire, au pluriel uniquement. Quant au masculin moderne, il est sans doute l'influence de la représentation du dieu Amour (appelé aussi Cupidon), sous la forme d'un jeune garçon ailé. Notons que ces hésitations sur le genre sont dues aussi à l'**élision de l'article défini** : « l' » peut remplacer *le* ou *la*. Les formes *l'amour*, *mon amour* ou *les amours* sont possibles pour un mot masculin comme féminin. Bref, en grammaire comme dans la vie, l'amour n'a pas de genre !



L'amour **et** cette image illustrent le fait que le mot *amour* est masculin au singulier et féminin au pluriel dans la langue littéraire.

辞書では、**amour**(愛)は、男性名詞となっています。**un grand amour**(大きな愛)と言いますね。でも、複数になると文語では女性名詞にもなっています。セルジュ・ゲインズブルの美しいシャンソンのタイトル「**Les amours perdues**(失われた恋)」にもありますね。不思議じゃないですか？

歴史的には、**amour** という名詞はかなり両性的です。ラテン語の語源の **amor** も、今のイタリア語の **amore** も男性形です。しかし、フランス語では 17 世紀まで女性形でした。かつての女性形は、例外的に文語の中で生き残ってきましたが、複数形のみで

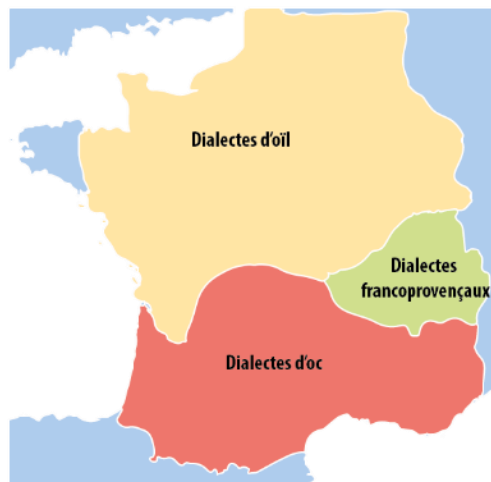
す。現代の男性形については、それはおそらく、翼の生えた少年の姿をした愛の神(クピッド、キューピッドとも呼ばれる)のイメージの影響です。

性別に関するこの不確かさは、エリジョンという母音字の省略のせいでもあることに気づかされるでしょう。「l'」は *le* または *la* の代わりになります。

「l'amour」、「mon amour」または「les amours」は、女性形にも男性形にもなります。要するに、人生と同じように文法的にも、愛に性別はないということですね！

L'amour vient-il du Sud ?

Le français moderne a pour origine les dialectes du Nord de la France (les dialectes « d'oïl »), qui diffèrent de ceux du sud (les dialectes « d'oc »). En français du nord, le latin *amor* est devenu *ameur* (comme *flor* est devenu *fleur*). La forme *amour* vient du sud de la France : c'est la littérature courtoise du Moyen-Âge, originaire d'Aquitaine, qui a ainsi influencé le français du Nord.



amour **et** cette image illustrent le fait que le mot *amour* est masculin au singulier et féminin au pluriel dans la langue littéraire.

現代フランス語の起源は、北フランスの方言(「オイル語」方言)で、これは南フランスの方言(「オック語」方言)とは異なります。北仏のフランス語では、ラテン語の *amor* は *ameur* になりました。(flor(花)から fleur になったように)。amour の語形は南フランスから来ていて、これはアキテーヌ地方を起源とする中世の宮廷文学で、北仏のフランス語に影響を与えたからです。